

情報公開用文書（横浜市立大学附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2023 年 2 月 28 日作成 第 1.2 版

研究課題名	脳脊髄血管障害に対する病態解明、治療法の検証、及び予後因子の解明
研究の対象	2001 年 4 月 1 日から 2028 年 11 月 30 日までに横浜市立大学附属病院で、脳脊髄血管障害と診断され、2028 年 12 月 31 日までに経過観察された方。
研究目的 ・方法	【目的】脳脊髄血管障害とは中枢神経（脳、脊髄）に発生する血管性病変の総称であり、くも膜下出血や脳出血をはじめとした出血病変、脳梗塞をはじめとした虚血病変からなります。治療法として保存治療、手術や血管内治療が挙げられますが、疾患によっては予後不良なものも少なくありません。また中枢神経であるがゆえに、生命予後のみならず神経機能を維持することは患者さんの生活の質を保つ上でも重要です。脳神経外科においては治療法の改良や手術機器の開発により発症の予防、神経機能の改善につながることもあるため常にアップデートすることが望まれています。一方で患者因子（年齢や性別、神経機能、障害部位や遺伝子異常）は発症のしやすさや予後と関連することが判明しています。病態は個々で異なるため、病態を解析することは容易ではありませんが、多数例を有する当院において、同一施設における症例を通じて脳脊髄血管障害の病態の解明を図るとともに、治療成績と予後について明らかにすることを目指します。 【方法】日常の診療録から脳脊髄血管障害の発生病態、治療内容、転帰等の情報を収集し、病態の解明、類縁疾患の鑑別、治療および予後を解析します。 解析内容は、術後の神経機能評価、画像評価を対象とします。
研究期間	西暦 2020 年 1 月 22 日 ～ 西暦 2028 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	【試料】なし 【情報】 日常診療で実施された項目を本研究に使用します。 (a)疾患背景： 疾患名・年齢・生活歴・既往歴・家族歴・喫煙歴・飲酒歴・発病年月・病型・組織診断・遺伝子異常（体細胞変異のみを対象とする）・臨床経過・罹患範囲・類縁疾患の鑑別 (b)脳脊髄血管障害に対する治療内容：外科治療・血管内治療・定位放射線治療の有無と手術支援機器の有無及び詳細・投薬期間・服薬状況と理由 (c)神経機能評価：

情報公開用文書（横浜市立大学附属病院で実施する医学系研究）

(単施設研究用)

	JOA スコア:日本整形外科学会が提唱している脊髄機能評価法です NCSS スコア:日本脊髄外科学会が提唱している頸椎機能評価法です modified Rankin Scale (mRS): 脳卒中発症後の生活自立度の尺度です Karnofski Performance Scale: 患者さんが日常生活でどの程度活動能力があるかを 0～100%までスコア化したものです。 (d) 画像評価: 通常の診療範囲内で施行したデータ（確定診断および鑑別疾患の除外に用いたもの） レントゲン、CT、MRI、SPECT、PET、脳脊髄血管撮影、ミエログラフィー、椎間板造影など
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学附属病院 脳神経外科 (研究責任者) 末永 潤 電話番号: 045-787-2800 FAX: 045-783-6121	